

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

新開地区

平成27年5月

広島県竹原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	狹隘道路の整備率	%	7	22	14	確定		△	あり		15	H27年4月	△		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	関連事業である新開土地区画整理事業により狹隘道路の改善が進められているが、土地区画整理事業の完了年度が当初計画のH24からH29に変更となったため、目標値の達成はH29となる。
						見込み	●		なし	●						
指標2	やすらぎある公園の充足率	%	15	86	63	確定		△	あり	●	86	H26年4月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	3箇所の公園(秋井公園・上新開公園・大方公園)の整備が完成し、当該地区の公園の充足率は目標を達成した。
						見込み	●		なし							
指標3	災害に強い設備の整備率	%	0	67	67	確定	●	○	あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	当該地区の耐震性防火水槽の設置が可能な公園において、耐震性防火水槽の整備が完了し、災害設備の整備率は目標を達成した。
						見込み			なし							
指標4	住民活動団体の数	団体	1	3	3	確定	●	○	あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	施設の管理・運営や地域の安心・安全活動を行う住民活動団体は目標値の3団体が結成された。(榎町親和会、中通小連合育成会、一間川を守る会)
						見込み			なし							
指標5						確定			あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標2						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	整備された都市基盤施設等の維持・管理	定期パトロールの実施 地域住民による公園の点検と清掃活動	パトロールの実施により、定期的な施設の点検・管理が行え、施設利用者の安全安心が確保されている。 地域住民による定期的な公園の点検と清掃活動により、公園の安全と美観が保たれている。	今後も地域住民と連携した定期的な施設の維持・管理を行うとともに、異常時においては早急な対応ができるよう努める必要がある。
	まちづくり活動の継続	公園里親制度により地域住民等(地域住民団体、個人又は企業若しくはその従業員の団体)のまちづくり活動を支援	地域住民等による継続的な公園の清掃、植木の剪定、芝生化及び施設の点検等が行われている。	今後も公園里親制度によるまちづくり活動の支援を継続的に行うとともに、公園里親の活動が実施されていない公園については里親募集を行うなど、まちづくり活動の推進に努める必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	総合案内板や誘導標識の充実	既存の案内板及び標識の位置と老朽度の確認 伝建地区内の公園への観光看板の設置	現状把握を行ったことにより、総合案内板等の整備・維持管理の具体的な計画検討が可能となった。	今後も既存案内板の維持管理に努めるとともに、観光客の誘導のための新たな案内板の設置や伝建地区周辺における景観に配慮した看板設置への取組を行う必要がある。
	地域の防災性、安全性の向上	災害備蓄整備事業の実施 地域と連携した防災訓練の実施	災害時における地域住民の安全安心が確保された。 また、自治会や地域の既存組織(自主防災組織等)と連携した自助・共助の防災活動体制の構築が図られた。	今後も災害への備蓄整備及び設備整備を継続的に行うとともに、防災訓練の実施により地域と連携した地域防災力の向上を図る必要がある。
	計画的な道路網の構築	土地区画整理事業による道路整備の実施	当該地区内の狭隘道路の改善が図られた。	今後も当該地区内の道路整備を推進するとともに、地区周辺部の狭隘道路についても道路網の構築及び歩行者の安全・安心の確保に向けた道路整備の検討を行う必要がある。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項